

## 第3学年 ぶれあい学習活動案

日時	平成15年10月7日(火)	2校時
児童	東町小学校3年1組・2組	47名
指導者	小板橋 彦 表	千 尋

### 1 単元名「名人をさがそう！」

### 2 単元について

子ども達は、1学期の単元「発見！東町小学校」の学習で、東町小学校で働く教職員がどんな仕事をしていて、どのように自分達と関わっているのかを調べ、わかったことや考えたことを自分達が選んだ方法で発表し、互いに交流することができた。しかし、調査活動そのものには意欲的に取り組んだものの、まとめに時間がかかったり、発表方法に偏りがあったりするなど、反省すべき点の多い単元になってしまった。

そこで、前単元と同じく「人とのかかわり」ではあるが、自分の興味・関心に基づいて対象を選び、体験を重視した交流を重ねながら、活動への意欲を持続できるような単元を設定したいと考えた。また、前単元での反省を生かせるような単元構成にする必要があるとも考えた。

子ども達の多くは、夏休みに行われた「昔探検塾」に参加しており、今回の活動の中心になるであろう伝承遊びに興味・関心をもっている。また、ゲストティチャーの多くは、現在、本校にある百寿大学の学生で、日常的にあいさつをかわしてきて、さらには1年生の時の学芸会で一緒に練習・発表をした経験もある。3年生という段階で「人とのかかわり」をテーマとした時には適任ではないかと考えた。

こうした現状から、本単元で高めたい力を次のようにおさえた。

名人との交流に関心をもち、自分なりの願いをもって、意欲的にかかわろうとする力  
交流活動や単元全体に見通しをもち、必要に応じて活動を修正していく力  
調べたことを聞く人にとってわかりやすいようにまとめたり、発表したりする力  
名人との交流活動を通して、自分の活動を振り返ったり、自分なりの感想や考えをもつ。

### 3 教師の指導・支援

#### (1) ぶれあいの対象

- ・自分が興味・関心をもった名人とぶれあうことによって、意欲をもって学習に取り組めるようにする。

#### (2) ぶれあいの方法

- ・「技を学ぶ」「技を練習する」といった体験的な活動を取り入れることにより、活動への意欲を高めさせたり、持続させたりすることができるようにする。
- ・見通しのたて方、まとめ方や発表のしかたを具体的に提示したり、指導支援することで、学習の手順や方法を身に付けることができるようにする。

#### (3) ぶれあいの確かめ

- ・規準に基づいた評価を計画的・継続的に見取りのシートにまとめることにより、一人一人の変容をとらえ、個に応じた支援ができるようにする。
- ・単元全体を通して、自己評価や相互評価を取り入れることで、自分の学びやがんばりを振り返ったり、互いの良さを認め合ったりできるようにする。

#### 4 単元の具体的な目標と個の見取り

単元の具体的な目標	おおむね満足できる ( B )	個への支援
関心	1 名人との交流に関心をもち、進んで関わろうとする。	どの名人と交流するか、自・対話をしながら促す。 分で決めることができる。 ・具体物を提示する。
意欲		名人との交流に進んで参・活動の見通しがもてるように加することができる。する。
態度	2 進んで発表会に参加しようとする。	意欲的に発表会の準備を・役割を明確にし、発表会全したり、参加しようとするこ 体の見通しをもたせる。とができる。
目		
思考	1 自分なりに工夫しながら、名人から技を学ぶことができる。	名人の話を聞いたり、アド・名人と会話ができるように、バイスを受けながら、交流 教師も活動に参加する。することができる。 ・小グループ化させる。
表現	2 わかったことやできるようになったことをわかりやすく表現することができる。	まとめ方や発表のしかた・具体例を提示し、まとめ方を自分なりに工夫すること や発表のしかたに見通しをもたせるようにする。とができる。
手足		
気付き	1 名人との交流を通して、自分なりの考えをもつことができる。	名人との交流を通して、名・結果や感想をもとに、個別人やその技に対して、自 に対話するなどして、考え自分なりの考えをもつことが に発展させる。とができる。
ひ		

学年別目標 ( 3 年 )

東町小学校 総合的な学習の教育課程 ( H1 4 作成 )

目	自分の周りの事象や対象に自分なりの問いや願いをもち、意欲的に関わろうとする。
手	課題を解決していくための手順や方法を考えることができる。
足	自分なりに解決したことをわかりやすく表すことができる。
心	自分の周りの事象や対象とのかかわりや他との交流を通して、自分なりの考えをもつ。

5	学習計画 (30時間扱い)				教師の指導・支援,見取り
段階	児童の活動				
見	お手玉名人と交流する。				・交流後,名人との交流について感想をま
つ		10/6(月)			とめさせる。
け					
る	どんな名人技を習いたい,挑戦したいか発表・予定しているもので出てこなかったものし合う。				を提示する。
	全体テーマを決め,自分が教えてもらいたいことを決める。		本時		・ゲストティーチャーの方々を知らせる。 ・およその学習計画を知らせる。 ・自分が教わりたい技を決める。 対話・学習ノート【関】
	学習の全体計画 ・グループ作り ・グループごとの準備				・交流をするために必要なことや準備しておくものを考えさせる。
8					
は	名人との交流(1回目)	10/16(木)			
た	・交流会の計画				・ゲストティーチャーとの連携を図る。
ら	・名人との交流				・必要なものを準備する。
き	・学習のまとめ				行動観察【思】
か	・お社の作成(感謝・発展)				学習ノート【思】
け					
る					
	名人との交流(2回目)	10/30(水)			
	・交流会の計画				・ゲストティーチャーとの連携を図る。
	・名人との交流				・必要なものを準備する。
	・学習のまとめ				対話・学習ノート【関】
	・お社の作成(感謝・発展)				行動観察【思】
					学習ノート【思】
	名人との交流(3回目)	11/6(木)			
	・名人との交流				・交流会の計画。
	・学習のまとめ				・ゲストティーチャーとの連携を図る。
	・お社の作成(感謝・発展)				・必要なものを準備する。
					行動観察【思】
15					学習ノート【思】
高	お社の会(発表会)をする。				・ゲストティーチャーからのメッセージを伝える。
め	・会の内容を考える。				行動観察・学習ノート【関】
る	・招待状を作る。				行動観察・発表物【思】
	・会の実施。				
	学習をふりかえる。(単元を通して)				
7					対話・学習ノート【気】

6 本時の展開（本時 5 / 30）

（1）目標

- ・どの名人と交流するか，自分で決めることができる。

（2）展開

児童の活動

教師の指導・支援，見取り

1 前時までの活動をふりかえる。

- ・学習が成立すること（名人が来てくれる）を知らせる。

2 全体テーマを考える。

- ・学習全体への見通しをもたせる。

3 本時の活動を確かめる。

自分が教えてもらいたい技を決めよう。

4 自分の追求活動を選択する。

- ・決まらない子には，個別に対話しながら促す。

5 自分が決めたことやそのわけ，W、いなどを交流し合う。

- ・それぞれの「こだわり」を認め，今後の活動への意欲を高める。

6 活動をふりかえり，次時の学習活動への見通しをもつ。

- ・交流活動をするために必要なことを対話から引き出す。

尋、こ=; 詩こ4無百=齋冷々々無砂て斧竹目 々即亥所答凍聡心佃む・折嫁部首々 ?  
 ト垂I 百丘モ部翁雄 7 砂回か山? ' 序で濁てン無恥o4略砂き識 a一剪、3なぞ |  
 池次1トござ、3耳耳 々シ師rr、々べでき 3 符号C 収ざ、き耳聡でか rI  
 符砂 f 砂へ辰洋字琳佃9、5沸辰砂ヴ凡百冷凍きμ前々 と・ かきな辰砂 挫  
 折そく萍C 溶け昨今 漣活か争=許折が酢雄略嫁け辰き 収冷 けり4。° E 俯  
 (Y0、へ啓拓落' 心隔ざ 砂石7翁' 沙ざ辰ヴ剪池畔0 と雄 rや辰 参ゆ 4  
 答池へ恥、\j、序 ° 辰敬仰竹部砥石r" o4 池 辰召:沙寥へ 漣ざ 百' } 5 登  
 ぎ辰順rf咄 俸' 即、3' ° 弾け' i夕斧心ひ符仰 符 獅漣 石偏 肺  
 漣きらy 露瀧夕行装弊 |、卯火田八 りき な即 雅家 今 漣圈 膠  
 o、沙辰=を 折 囉琳砂海砂かな' なび 心百 遊首 嫁陣 辰 S  
 牙' e4沙翁 心肺 き今 部活き、3、こ 砂辰 べ仰 百' 霧け 仰躍 猫  
 山寺 ひ所 溝即 唯唯、3首 百f cド 肇、3 部 | 活け 即答、1、1  
 師寺 ° 応 e一考 昨、' 昔々 今次 へ仰 微微、3 - か所 符7

佃

佃

佃

a

佃

摺

C

佃

寡  
芦

凍露



Q Q t r j H 叫 叫 叫 叫 F H 叫 S

N) O C CX) べI Q び1 4 Cl1\、\、:)

唄

\* 々 j け吟伯 t 麗弛 E 吻対冲斧勝冷曹 E 舞。肺 0、・吟に 4 吟沸酔勝鴻々リ;練石吋勝

八必 o 4 心凍、今 剪 6 藩吟? 娠知附 池裾剪 ゆ f 吟べヴ歩堆 S へ霧剪蔣吟堆

姉総府示浜荷瑕川

示綴汗衛レ討泣炎川

訟恥丑批弥 3\* 厚1 嘗回沁ジ浙症さ 乙々. \* y だ心ば S 々 t r 1」写曹 E 零